

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道372号道路改築事業 丹南バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：兵庫県
起終点：自：篠山市栗栖野 至：篠山市不来坂		延長：3.2km	
事業概要：一般国道372号は、京都府亀岡市を起点とし、兵庫県姫路市に至る延長約104kmの幹線道路である。丹南バイパスは、線形不良・幅員狭小区間の解消を目的とした、兵庫県篠山市栗栖野から同市不来坂に至る延長3.2kmの2車線道路である。			
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手	H10年度工事着手
全体事業費	47億円	事業進捗率	62%
計画交通量	8,800台/日		
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) : 2.1 (残事業) : 6.3	総費用 (残事業)/(事業全体) : 18/52億円 事業費 : 15/49億円 維持管理費 : 3/3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) : 111/111億円 走行時間短縮便益 : 106/106億円 走行費用減少便益 : 4/4億円 交通事故減少便益 : 0.7/0.7億円
基準年：平成17年			
感度分析の結果			
事業の効果等 国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） 災害への備え（兵庫県地域防災計画及び緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある）他5項目 関係する地方公共団体等の意見			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 大規模法面崩壊の対策に約3年かかり、その影響で完成予定を2年延伸する。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H8年度から波賀野工区に着手し、H12年12月に約0.3km、H17年6月に約0.2kmを供用。 H16年度から不来坂工区に着手、H17年度から用地買収着手。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 波賀野工区においては、平成18年度末までに用地買収を完了させる予定であり、また、不来坂工区についても、地元から早期完成の要望が出されるなど、事業に対する地元合意が得られている。			
施設の構造や工法の変更等 平成14年6月に発生した大規模法面崩壊の対策工及び不来坂峠の工法変更等による事業費の増額（約20.0億円増）			
対応方針 対応方針決定の理由：事業の必要性は事業採択当時と何ら変わっておらず、地域住民からも早期完成を望む声強いことから、継続して事業を実施する必要がある。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。